

都民の手帖

戦後間もない時代に発行されたレトロな小冊子「都民の手帖」をご紹介します。

昭和27年版「くらしの便利帳」

この冊子は、今でいうところの区役所が配布している「くらしの便利帳」のようなものです。

表紙は、日本橋の風景で、江戸時代の日本画と当時の写真のツーフェイスの粋なデザインです。



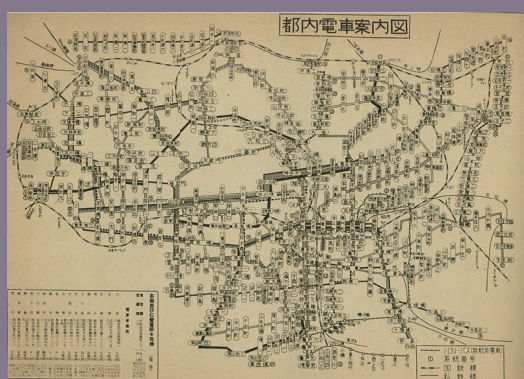
昭和27(1952)年発行

23区の自治にとって大きな転換期であった 昭和27(1952)年

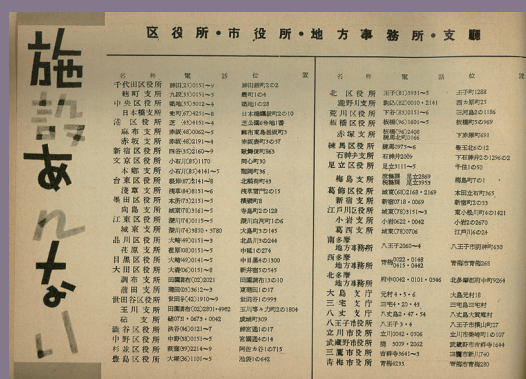
「施設あんない」では、現在と変わらぬ23の区役所が名を連ねています。本書が発行された昭和27(1952)年は、23区は東京都の内部的な団体になるとともに、区長公選制が廃止され、大きな転換を余儀なくされた一年でした。そんなさなか、東京都の手により本書が配布されていたのです。

変わったもの、変わらぬもの

さっそく手帖の中身をのぞいてみましょう。面積2,031km²、人口700万人など東京都の統計から始まり、公共施設の一覧表などがコンパクトにまとめられています。四季の案内は秋の台風による水害、国鉄・私鉄の路線図には、都電やトロリーバスの路線も描かれています。都税一覧表も掲載され、「芸者への花代、税率は料金の100%」……。昔はなかなか厳しかったようです。ページ合間の広告も、テレビ放送は昭和28(1953)年開始のためラジオ局の広告が並んでおり、百貨店、ガス会社など時代を感じさせるものです。広告収入を作成費用に充てる仕組みは、半世紀以上も前の先人の知恵だったのですね。



国鉄・私鉄の路線図



施設あんない

